

プレゼン：3月10日 A会場 11:15～ 企業を超えた新ビジネスモデル

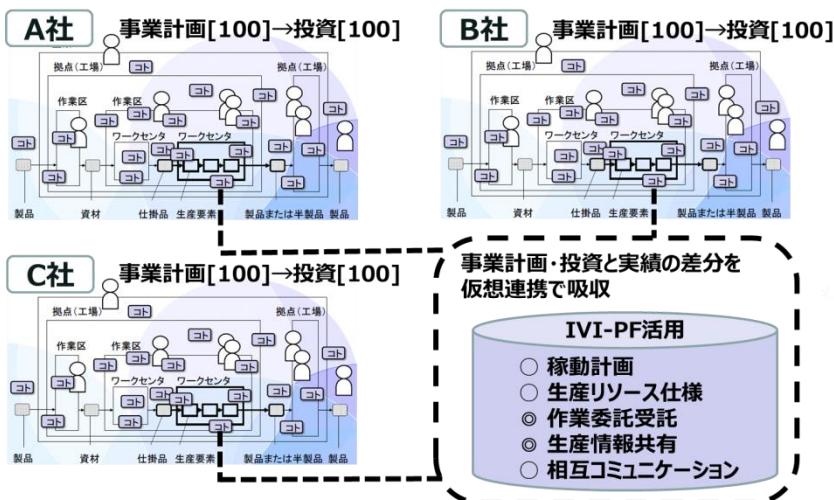
対象業務の現状と取組み

生産設備や検査機器など生産リソースをシェアリングする共生型ものづくり社会

新製品開発などでは、限られたスケジュールで求められる仕様や品質を実現するために担当者は常に追い込まれています。マージンなどを計画に見込んでいても、トラブルは常に発生するため、生産リソースの余裕がなくなるケースがしばしば生じていました。余剰リソースを相互融通（シェアリング）する仕組みがあれば、こうしたトラブルによるリスクを抑えることが出来ます。IoTを活用して工場・企業間で生産情報を共有し、生産リソースを相互融通する共生型ものづくり社会を実現します。いろいろな生産リソースを時と場所を越えて、互いに融通し合う共生型ものづくり社会の実現に挑戦します。

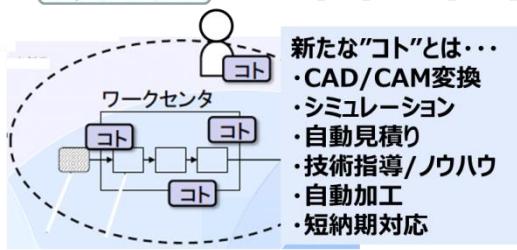
実証実験・業務シナリオ (TO-BE)・成果

“コト”(サービス)シェアリング構想 (First Step)



■企業間で相互融通可能な生産リソースを想定して、図面や稼働予定等の生産情報の共有や、利用可能なリソース検索、予約を高速且つセキュアに行う実証実験を行います。また、最先端の

ファウンダリ 市場規模[60]→投資[100]



デジタルものづくり技術の活用で新たな“コト”を創出するオンデマンドサービスの価値を検討します。

- ファシリテータ : 堀水 修 (日立製作所)
- エディタ : 根井 正洋 (ニコン)
- メンバ : 澤田 浩之 (産総研)
- 高木 忠雄 (ニコン)
- 井土 正俊 (ブラザー工業)
- 藤島 光城 (三菱電機)

